

日本鐵鋼協會第23回通常總會記事

(昭和13年4月3日(日)午前11時23分開會)

日本鐵鋼協會第23回通常總會開會の辭

社團法人日本鐵鋼協會々長

工學博士 水谷叔彦

只今より第23回通常總會を開きます、本日の出席正會員、委任狀に依るもの479名、出席480數名、正會員の總數が1,132名でありますから定款の規定數に差支ないことになって居ります。

總會を開くに當りまして、先以て申し上げたいことは、昨年の事變勃發以來有らゆる艱難困苦を克服されまして奮闘されて居ります出征將兵並護國の爲に殞られました英靈に對しまして深甚なる感謝の至情を表したいと存するであります、其の次に申し上げたいことは前會長名譽會員工學博士鹽田泰介君と、同じく前會長名譽會員工學博士香村小録君の逝去致されたことであります、此の御兩君は何れも多年本會の爲に御盡力を下されまして、本會の發達に就きましては今後御兩君に俟つ所極めて大なるものがありましたのに、俄に御逝去になりましたことは本會の爲め、又邦家の爲に誠に痛惜に堪へぬ次第でございます。

續いて議事に入りますのでありますが、議事に入ります前に例に依りまして過去1年間の鐵鋼界の概況を申し上げ、旁々所懐の一端を申述べたいと存じます、今次の事變に於きまして皇軍は江南江北の天地に於て常に連戦連捷せられて居りますことは御同慶の至りでございます、併し將來何處迄戦局が發展して行きますか豫測を許さぬことでありまして、前途は尙ほ極めて遼遠であり、長期に亙るものと覺悟せねばならぬと存じます、此の間皇軍の活躍をして遺憾なからしむるのには鐵と鋼の充分なる供給が最も大切なことは申す迄もありません、即ち極力其の増産を圖り、一面に於ては軍需品以外の消費節約の途を講じ事變の目的を達成せねばならぬと存じます、政府に於かれましては鋭意之が具體策を樹て、著々實行せられて居りますし、又事業界の當業者に於かれましては一致協力鐵鋼に關する諸設備の擴張、新設等に努力致されまして夥しいものがあります、過去1年間の我が國に於ける銑鐵並鋼塊の生産高は前年に比しまして著しく増大を致して居ります、例年の如

く此處に明確なる數字を擧げることは時局に鑑みまして遺憾ながら差控へますが、其の程度は隨時新聞並雜誌の上に見る記事の上より察せられることと存じます。

續て世界に於ける昨年の銑鐵並鋼塊の生産高に付て見ますと、銑鐵、是は合金鐵を含めまして、總生産高は100,000,000 噸餘りであります、昭和11年より1割2分の増産となつて居ります、此の中米國は37,000,000 噸で、全生産高の3割67に當て居ります、獨逸は16,000,000 噸で、全生産高の1割5分5厘に當て居ります、ソヴィエト露亞西は14,000,000 噸で、全生産高の1割4分に當ります、英國は8,500,000 噸で、全生産高の8分に當て居ります。

鋼塊に於きましては昭和12年の全生産高は大略130,000,000 噸でありまして、昭和11年に比して約8分の増産となつて居ります、此の中米國は約50,000,000 噸で、全體の3割77、獨逸は19,000,000 噸で、全體の1割ソヴィエト露西亞は17,000,000 噸で、全體の1割3分に當て居ります、英國は13,000,000 噸で、全體の1割となつて居ります。

以上述べました通り昭和12年に於ける歐米諸國の銑鐵並鋼塊の生産高は前年に比しまして何れの國に於ても増産をして居ると云ふことになって居ります、是は一面最近の緊迫致した國際情勢から見まして軍需工業の隆盛を物語るものと考へられるものであります、歐米諸國に於ける状況は以上の通りであります、昨年以來未曾有の時局に直面して居ります我が國の増産がそれ以上著しきものがあることは改めて申さずとも明かな事實であります、前にも申しました通り現在我が國の直面しつゝある此の聖戰の目的を達しますのには、我等銃後の國民としては何を差措ても時局に必要な物資の供給を遺憾なからしむることに努めねばならぬと存じます、物資の中でも最も大切なものは鐵鋼の増産であります、此の時に當りまして鐵鋼業の進歩

發達を使命と致して居ります我が鐵鋼協會に於きましては學理と技術の研究を益々盛んにしまして、良い鐵鋼を最も經濟的に、又出来るだけ早く多量に産出することに貢献を致さねばならぬと存じます、幸ひ近年此の方面の研究は益々盛んになりまして、今回の講演大會に於きましても多數の優秀なる研究論文の提出せられて居りますことは誠に喜ぶべき所であります、是等は何れも前に述べた時局を達成するに必要な有益な資料を鐵鋼業界に提供されるも

のであると存じます、尙ほ今後我等益々努力を盡して是等鐵鋼の改良發達に必要な研究調査に努むべきことは申す迄もないこととありますが、殊に現在時局に對して緊切なる事項を選びて其の研究調査に力を進めることが必要と存ぜられます、就きましては會員諸君に於かれましても之に關する御意見は御腹藏なく本會へ進言せられまして、本會をして技術報國の誠を竭し得る様御協力あらむことを切望致す次第であります。

會長挨拶を終り議長席に移る

議長(水谷叔彦) 是より議事に入ります、議事の順序を變へまして議事の「=」の會長、理事、評議員の選舉を先に致して頂きたいと思ひますから、御投票になつて居らない御方はどうぞ御投票を願ひます。

〔投票〕

外にもう投票の済まぬ御方はございませぬか……もうないやうでございませぬ、投票の開票は例に依りまして時間省略の爲に立會人を定めて別室で開票致したいと存じますが御異議はございませぬか。

〔異議なしと呼ぶ者あり〕

○議長(水谷叔彦) 御異議はないやうでございませぬから、それでは甚だ御苦勞でございませぬが川上さんと池田さんに別室で開票に御立會を願ひたいと思ひます。

議事の「イ」に移ります。昭和 12 年度會務報告であります、是は毎月會誌にも掲載を致して置きましたし、又御手許にも差上げてありますから、朗讀を省きまして、主なる事項のみを常委員より摘んで申上げることに致しますから御諒承を願ひます。

常務委員(山田良之助) 處務關係の事項に付きまして簡単に御報告申上げます、詳しいことは御手許に差上げました刷物にございませぬが、現在本會の會員数は總計 2,399 人でございまして、昨年同様に比較致しまして 203 人の増加になつて居ります、會員の増加から見まして非常に順調に會が發展して居るのであります、尙ほ今回の事變に際しまして會員中から應召せられまして現に出征して居られます方々が 15 名ございませぬ、それ等の方々に對する取扱は會誌に於て記載してある通りであります、尙ほ處務關係事項としまして色々の役員會を臨時開催して居りますが、決定せられてあります事項に付きまして主なるものを申上げますと、先づ第一に野田文庫の件でございませぬ、野田文庫に付きましては既に前に報告済であります、現在本會の事務所の一室に書架を作りまして、既に 2 月末に出来上りました。目下圖書の選定中でございまして、ポツポツ文庫の擴充をして行きたいと存じて居ります、次は鐵鋼要覽の件でございませぬ、鐵鋼要覽も既に御承知のやうに計畫されましてから幾分時局が経過して居りますが、各方面の専門の方々に原稿を依頼致しました所既に多數の原稿が參て居りまして、完成は豫定致しました期日から幾分延びて居りますが、遠からず完成するものと考へられます、以上が處務關係の主なる事項でございまして、尙ほ詳しいことは刷物に付て御覽を願ひます。

○議長(水谷叔彦) 會務報告に付て御質疑がございましたらばどうぞ……別段御質疑もないやうでございませぬので、それは原案通りで御異議ないことと認めます。

次に議事「ロ」「ハ」に移ります、是は「ロ」は昭和 12 年度決算

報告「ハ」は昭和 13 年度豫算報告であります、此の兩案を一括上議致したいと存じます、先づ會計常務委員の方から先に御報告を申上げます。

常務委員(鹽澤正一) 會計狀態を簡単に申上げます、會計狀態は第 1 號から第 5 號の表、即ち貸借對照表、收支決算書、別口資金收支決算表、財産目録、別口財産目録に掲げてございませぬ、詳細に付きましては表を見て頂くことに致しまして、大體の數字だけを申上げます、昭和 12 年 2 月末日の資金が 146,688,350 錢でございませぬのが、昭和 13 年 2 月末日に於きましては 276,288,74 錢と云ふことになつて居り、差引増加額が 129,480,39 錢でございませぬ、此の内譯は事業資金が 4,391,01 錢、別口資金が 125,089,38 錢と云ふことになつて居ります前年に比べますと別口資金が著しく増加致して居りますが、是は主として野田文庫資金が加たからでございませぬ、次に前に申上げました昭和 13 年 2 月末日現在の資金 276,288,74 錢の内譯は事業資金が 88,926,87 錢、別口資金が 187,361,87 錢と云ふことになつて居ります、又第 2 號の表の支出の方の欄にあります差引本年度收支超過金が 4,096,25 錢であります、之に圖書とか什器など資産に還元する金額 294,76 錢を加へたものが本年度資金増加 4,391,01 錢と云ふことになつて居ります、次に第 3 號表におきまして本年度新しく野田文庫資金が加はり、第 4 號表の財産目録の數字は野田文庫資金が加た爲に著しく増加して居ります、尙又第 5 號表には 6 番と致しまして野田文庫資金が記入された點が昨年度と特に變た點でございませぬ、その他昭和 13 年度經常收支豫算及昭和 13 年度別口資金收支豫算などは何れも別の表にあります通りで、是は説明を略します、大體斯う云ふ會計狀態となりまして年々膨脹致して參て居ります。

○議長(水谷叔彦) 監事の監査報告を願ひます。

○監事(西村小次郎) 貸借對照表、收支決算、財産目録に付て精細に取調べました所何れも正確なものと認めます、茲に會員諸君に御報告申上げます。

○議長(水谷叔彦) 此の決算報告、豫算報告に付て御質疑がございましたらば、どうぞ……別に御質疑もないやうでございませぬが、御異議ありませぬか。

〔異議なしと呼ぶ者あり〕

○議長(水谷叔彦) 御異議ないやうでございませぬから原案通り御承認を得たものと見定めます。

次に會長、理事、評議員改選、前刻申しました立會人の立會の下に開票致しました其の結果は、會長たる理事齋藤大吉君、それから理事は現理事が再選せられました、それから評議員の半数改選は、井上克巳君、石原廣一郎君、長谷川熊彦君、小倉正恒君、大村正篤君、門野重九郎君、川上義弘君、川崎舍恒三君、梶山又吉君、横田文吉君、